

しかはま自然観察会

のらえもん

『人も 自然も みんなともだち !』No.10

代表責任者

古高 利男

☎270-1132

我孫子市湖北台2-14-7

☎090-7275-9890

2013, 9, 21 (土)

第10回活動「稲刈り&芋掘り体験」

1, 日 時: 2013年9月21 (土) 快晴

2, 場 所: 稲刈り・・・宅間農園 (茨城県常総市大生郷新田町1558)

芋掘り・・・あすなろの里 (茨城県常総市大塚戸町310番地)

電話 0297-27-3481

3, 参加者: 家族23 内訳 大人 27

子ども 25

幼児 5

合計 57

スタッフ3 総計60



4, 活動の様子

稲刈り

● 9:30 宅間様の待つ田んぼに到着。挨拶のあと、宅間様から「今年は、豊作!」との話を聞く。黄金色の稲穂が風に揺られている。5月の田植えでは弱々しい緑の苗だったのに、5カ月後の今では、1畝にも成長した茎の太い稲穂が地面をすっかり被っている。

● 10:00 さあー、稲刈り開始!

気温 30、1℃ 地温 20, 8℃ 微風

刈る人と束ねる人のペアで、全員田んぼに入る。

「今年は、全部、刈るゾー!」を合い言葉に。

去年は、暑さのためギブアップ!コンバインのお世話になったのです。今年は、鹿浜こども園の強力なメンバーが参加してくれましたので、全部刈れると思ったのですが・・・。

親子で声を掛け合い、ザクザクと刈りました!

お隣同士の大人は、「年を感じるネー!」と話しながら刈りました。

「田んぼに育つ草はタカサブロウと・・・」と、植物観察しながら刈りました。

虫取りに走る子も出てきました。

汗がたくさん出てきました。

大人も、腰を上げる回数が多くなってきました。

● 11:00 中休み

腰を伸ばし、水分を補給しました。

休みながら見渡すと、畦まではまだまだ遠いのです。不安が横切りました・・・。

● 11:30 ギブアップ!

これ以上はダメだとわかり、敗北宣言!あと三分の一が残ったようです。面積は約3畝(約3アール)ですので、60人で2畝しか刈り取れなかったことになります。田んぼの仕事は手強い!

刈った稲穂だけはコンバインにかけて、粃だけにしました。コンバインは、刈る・脱穀するのを同時に・短時間で終わらせました。のらえもんの60人が1時間30分稲刈りだけに挑戦しても、全部刈り取れなかったというのに・・・。

田んぼの生き物

田んぼや用水路を探し回り、子どもたちはたくさんの生き物を見つけました。探しているときと時の子どもたちの顔、とても精悍です。目標に真剣に向かっている顔です。「こんな力があるんだ!」と、うれしくなります。

・ ・ 見つけた生き物

カメ(日本固有種のイシガメ)の赤ちゃん、トンボ、バッタ、カマキリクモ、カエル(アマガエル、トウキョウダルマガエル、トノサマガエルは関東にはいないということです)、アメリカザリガニ、チョウチョ

・ ・ 田んぼの中に生えていた植物

オモダカ、タカサブロウ、カンガレイ、コナギ、ヒエ

・ ・ 昼食の広場でみつけたもの

赤いカラスウリの実

芋掘り体験

黒い土の中からピンク色のサツマイモが顔を出したとき、どの子も目をまん丸くして満足そうな表情になりました。歓声も出てきて、笑顔になってきました。一株から大きなサツマイモを2個以上掘り出し、大満足!茎を折ると、白い液体が出てきて手につきました。土は軟らかく、手だけで掘り出すことが出来、土の感触にも十分に触れることができました。

近くで様子を見ていた農家の方々にお話を聞くと、

◎ 肥料は入れない。肥料を入れると、葉ばかりが繁り、芋が太らない。

◎ 太陽がガンガン照り、乾燥気味の土がいい。

◎ 連作はOK。

◎ この畑には、1トンの糠を投入した。

◎ この畑には、5000株植えてある。

◎ 6月に植え、10月に収穫。120日で育つので「サツマイモ120日」という。

とても参考になりました。

サツマイモの歴史

○ 紀元前1000年から、中央アンデスで栽培。

○ ニューギニア→インドネシア→フィリピン→中国→琉球→鹿児島へと伝わってきた。

○ おならは出るけど、臭くない!便秘はしない!太らない!
繊維が多いので、お腹の掃除屋さんの働きがある!!

赤い花、彼岸花が

ここあすなろの里の所々に、赤い花がまるで花火のように咲いていました。彼岸花です。不思議な花で、9月になると葉っぱもないのに茎の先に赤い花を咲かせます。葉っぱはどこに？と思っていると、花が終わり茎が枯れてしまうと、真ん中に白い筋の入った長細い葉を冬に向かってどんどん伸ばしてきます。真夏になる頃、その葉は突然見えなくなってしまいます。土の中にスイセンのような球根があり、この球根は有毒です。が、飢饉のときには、毒抜きをして食べた時代があったということです。

彼岸花は、他にもたくさん名前をもっています。曼珠沙華、カミソリバナ、シビトバナ、トウロウバナ、捨て子花、天蓋花、カジバナ、などです。

墓地に多いので、シビトバナと言われているのです。

・・・親と子の生き生き感想・・・

○オオカマキリをつかまえたことがうれしかったです。

いねかりを やってみたけど すぐあきた 上沼田小 一年

*初めての稲刈り体験でした。これくらいなら刈り終わるかなと軽い気持ちでしたが、やってみると大違い。刈り取るのはまあ楽しかったですが、わらで束ねるのは、コツがいるのだなあと思いました。

母

○いねかりで、いねをかるとき力がいっぱいつかう。

いもほりで たくさんとれた よるごはん 上沼田小 二年

○きょうは、いねかりをしりさつまいもをほったりして楽しかったです。

いねかりで お米がとれた こしひかり 上沼田小 三年

○いもがおおきいのがとれた。いねかりはすごかったのしかった。

たのしいな みんなであそぼう たのしいな 上沼田小 一年

○いねかりがすごきたいへんだったけれど、たのしかった。いもほりもたのしかった。

あつい日に いねかりしたよ つかれたな 上沼田小 二年

○いねかりがたのしかったです。いもほりがたのしかったです。おふろはあたたかくてきもちよかったです。

ふろ入り ふろが長くて びっくりだ 上沼田小 五年

○たのしかった。

いもほりで いっぱいとれたよ さつまいも 上沼田小 六年

○たのしかった。

いもほりは うまくぬけず ぶちっとな 上沼田小 二年

*稲刈りなのに軍手を忘れてしまい見学かなと思っていたら、雅人は素手で刈り始めたので、びっくりしました。

さつまいも たくさん食べて ダイエット

母

○ぼくは今日ののらえもんで、いねかりといもほりをしてとてもたのしかったです。なぜかという、いねかりはかりおわった後、カエルがなついてくれたからです。いもほりは、たくさん大きいもがとれたのでよかったです。また、いきたいです。

いねかりで かえるとあそんで たのしいな 鹿浜一小 三年

*稲穂の重さに今年の実りの豊かさを感じました。

カエル跳び トンボ舞う田は 豊かだな

収穫は 皆が笑顔の 花が咲く

母

○たんぼ、たのしかった。いもほりたのしかった。おべんとうのとき、とんぼがいた。ふれあいどうぶつえん、たのしかった。きょうは、ほんとうにたのしかった。

年長

○きょうはたのしかったです。カメをつかまえたのがうれしかったです。カマキリが、バッタをたべてしまいました。

カメにとって カマキリもにとって うれしいな 鹿浜一小 三年

*天気が良くて、稲刈りのあしもともぬかるんでいなくて助かりました。稲刈りは大変だけれども、小さい娘はたくさん手伝ってくれました。息子は始めだけで、虫取りに夢中でした。芋掘りは、まだ早かったですね。

米うまい 稲刈り苦勞 報われる 母

○今日のいねかりは楽しかったです。でも、つかれました。いもほりで、わたしがぬいたのは三本ついていました。私は左利きなので、かまをもつのがたいへんでした。

みんなでね いねかりをした 時間切れ 鹿浜一小 三年

*いねかり、いもほり、とても楽しい一日でした。農作業の大変さを痛感しました。虫や草木から秋を感じる一日でした。

秋の虫 みのりの季節 教えてた 母

○かまできるのが、むずかしかったです。

おいもほり はやくたべたい おいしそう 鹿浜小 一年

*快晴の稲刈り、暑かったです。だいぶ秋の暑さになっていたと思います。五月に植えたものをここまで大きくなる様に世話して下さった農家の方には、感謝です。毎度貴重な体験をさせてもらっているなあと思います。

豊作と 聞いてかなるほど 穂が重い 父

○ともだちがいっぱいいて、それにいろんなことをおしえてもらったから、よかったとおもいます。

きょうはね いもほりおふろ たのしいな

のらえもん きょうはいもほり たのしいな 北鹿浜小 二年

*天気に恵まれての稲刈り、芋掘り楽しかったです。たくさん汗をかいたので、お風呂が気持ちよかったです。しかもあの大量のさつまいも、どう料理しようか？

母

○きょうのおふろはたのしかったです。あと、ゆめとなぎといずとのんとママとなぎママとゆめママでどうぶつをさわられてよかったです。

たのしいな おふろにはいれ ほっかほか 北鹿浜小 二年

○今日、いねをかまでかるのがむずかしかったです。でも、いっぱいとれてよかったです。いもほりは、大きいいもがいっぱいとれてよかったです。

いもほりは 土が手につく いやなもの 北鹿浜小 五年

○きょうは、お米やいもをほりました。わたしは、はじめてお米をかりました。すこしかたかったけど、がんばってきりました。とてもたのしかったです。

いもほりと おこめをかった はじめてだ 北鹿浜小 二年

*自らの手で植えた苗が、どんな様子で成長しているのか、とても楽しみにしていました。鎌が良かったせいか、思ったより力が要らずに刈れました。田植えの時は、水がいっぱいだったのに、なんでもう水がないの？という子どもの質問には、うまく答えられませんでした。良すぎるくらい秋晴れの中、親子でとても良い経験が出来ました。あすなろの里はとても良い所で、ゆっくり歩くにはちょうど良い施設で、芋掘りに散策、入浴と時間が足りないくらいでした。母娘では、なかなかできない企画をいつもありがとうございます。

稲穂はね 日本の秋の 金メダル 母

○いねかりは、すごくたのしかったです。稲刈りは前からやってみたかったのでうれしいです。まえにとれなくてむっとなっていたアマガエルもさんひきとれてよかったです。ほかのカエルは一ひきとりました。「東京だるまがえる」みたいなかえるです。いもほりはたのしかったです。土がとてもやわらかくて、ほりやすかったです。一株のいもがよこのいもとつながっていてびっくりしました。いものつるがとても長かったです。大きいのがとれてよかったです。

いもほりの 土はとても やわらかい
アマガエル 走って走って つかまえた
カラスウリ みたら足が はやくなる 新田小 四年

*二〇年ぶりくらいに稲刈りをしました。何十分かやっただけで疲れたので、昔機械がなかった頃は、本当に大変だったのだなと思いました。カマでザクザク切る感覚はとても気持ち良かったです。楽しい体験をさせていただきありがとうございました。

アマガエル 前指四本 後ろ五本
稲刈後 入るお風呂は 天国だ
かわいいね つぶらな瞳の アマガエル 母

○バッタとコウロギをつかまえるのがたのしかったです。清水保育園年中組 栗原かんだ
○今日の稲刈り、芋掘りは、大変だったけど楽しかったです。こんどはちがう野さいを収穫したいです。

おイモ掘り もっとでかいと いいのにな 栗原北小 五年

○カメと大カマキリを見ました。りゅうすけくんがカメをもってかえるとっていました。いもほりは、小さいものもありました。

いもほりは ちいさいやつが ありました 扇小 五年

*カマを持つ手つきも慣れたものです。が、危なそうで目がはなせません。でも、すぐにあきてしまい虫取りに励んでおりました。このような活動の場を設けて頂き有難うございました。

秋空に 嬉しく弾む 稲のカマ
どの顔も 汗いっぱい 稲を刈る 母

○稲刈りは何回もやっていたので、簡単にできました。楽しかったです。

七中 一年

*最近、野草の名前を覚えるようにしています。田んぼの端にタカサブロウ（白い花）、神社の駐車場にマルバルコウソウ（赤い花）咲いているのを見ました。 父

*一週間前の台風の影響を受けていないか心配でしたが、黄金色の田んぼを見てほっとしました。今回は、稲を刈るだけでなく刈った稲をわらで束ねる作業に初挑戦。ぎゅっとやったつもりが、すぐゆるんでしまって悪戦苦闘しました。でも、何回かやっているうちになんとか束ができました。

台風に 負けずに稲は 黄金色
稲を刈る 頭上に乱舞 赤とんぼ
新米と お芋で美味しい 秋がきた 母

○自分達の植えた苗の成長に感動し、初めての稲刈りに挑戦しました。今日の稲刈りの体験を保育にも生かしていきたいと思いました。そして、農作業の奥深さをしみじみ感じた一日でした。貴重な体験をありがとうございました。

いなほたれ 新米うれし 豊作に

こがねいろ いなほかがやき 感動し

おもほり 土の感触 手に残り

鹿浜こども園

○田植えをさせていただいたので、今回の稲刈りを楽しみにしていました。予想していた通り重労働で汗だくになりましたが、楽しい体験でした。全部刈り入れなかったことは、少々残念でした。ありがとうございました。芋掘りも楽しかったです。スイートポテトを作ろうかな！

稲刈りで 力を合わせる 気持ちよさ

鹿浜こども園

○田植えし、稲刈りも経験でき、とても楽しかったです。稲を手で刈り、束ねていく難しさを感じながら、先人の苦労に思いを馳せました。お米、芋共々食べるのが楽しみです。

稲刈りも チームワークだ こども園

鹿浜こども園

○今日一日でとても学びました。それとともに疲れしました。米の収穫では人の苦労を知り、いもでは、バスで栄養・特徴などいろいろ知りました。学校でも学んだことを生かしたいです。

おもほり レシピいろいろ 楽しいな

おさるさん おしょくじタイム うれしそう

米づくり 大変だけど がんばろう

西新井第二小 五年

*田植えに続いて、初の稲刈り、暑い中時間をかけ、刈って束にして、手作業ではなかなか進まず、これほどの労力とお米ができるまでのたくさんの手間を農家の方はかけていることをあらためて知り、感謝して食べなければと思いました。

八十八 新米にあえて 大感謝

鹿浜こども園

○いねかりって「楽しそう」と思っていたけれど、すごく大変だと知った。

おもほりで 八つも芋が ついてたよ

西新井小 五年

*稲刈りは、はじめての経験でしたが、思った以上にたいへんで、毎日お米が食べられることのありがたさを感じました。あすなろの里は、昨日遠足の引率で来ましたが、飽きることなく、芋掘り、動物コーナーを楽しみました。また、昔の民家のようなところでゆっくりと休憩し、とてもいい雰囲気に癒されました。とても楽しい一日をありがとうございました。

稲刈りの 疲れに勝る 喜びよ

鹿浜こども園

○ のらえもんの感想

* 稲を刈る六十人ののらえもん

* 腰を上げ稲穂の先を確認する

* 稲を刈る健康談議始まりて

* 稲を刈る切り株増えて汗増えて

* 稲を刈るカエルもクモも目に止まり

* 力込め想いめぐらし稲を刈る

* 黒い土広がるほどに稲を刈る

* 黒い土手で動かせばサツマイモ

* 黒い土ピンクの芋が顔を出す

* あった！おおきい！声の出る芋掘り体験

* 重い芋レシピで頭が痛くなる